

駐日外交団による地方視察ツアー実施結果について

令和7年7月31日
 広域観光・文化・スポーツ振興局

大阪・関西万博の開催地である関西の歴史、文化、産業、食等を駐日外交団に紹介するため、外務省との共催で、「駐日外交団による地方視察ツアー」を下記のとおり実施しましたので、ご報告します。

記

1 概要

- (1) 日程 令和7年7月9日（水）～10日（木）
 (2) 主催 外務省・関西広域連合
 (3) 参加国 16か国18名

アルバニア共和国、アルメニア共和国、イエメン共和国、イラク共和国、
 ガーナ共和国、ザンビア共和国、タンザニア連合共和国、ナミビア共和国、
 パナマ共和国、ペルー共和国、ポルトガル共和国、メキシコ合衆国、
 モザンビーク共和国、モロッコ王国、ヨルダン・ハシェミット王国、
 レソト王国 ※五十音順

(4) 行程

◆1日目（令和7年7月9日） 徳島県

始	終	訪問先等
13:45	15:30	上勝町ゼロ・ウェストセンター
16:30	17:30	徳島県立 阿波十郎兵衛屋敷
19:00	21:00	関西広域連合主催 歓迎夕食会 (アオアヲナルトリゾート 1階ブルーローズ)

◆2日目（令和7年7月10日） 兵庫県・京都府（けいはんな学研都市）

始	終	訪問先等
9:30	10:45	人と防災未来センター（兵庫県）
12:15	13:50	関西広域連合主催 昼食会 (けいはんなプラザ 3階 ナイルB)（京都府）
14:00	15:30	㈱国際電気通信基礎技術研究所(ATR)（京都府）

2 ツアーの様子

【7月9日】

(1) 上勝町ゼロ・ウェイストセンター

日本ではじめて「ゼロ・ウェイスト宣言」を行った上勝町のゼロ・ウェイストの取組を発信するための拠点である「上勝町ゼロ・ウェイストセンター」を訪問した。

上勝町から、これまでのゼロ・ウェイストにかかる取組についてプレゼンテーションを受けるとともに、実際にどのようにゴミを分別し、減らし、リサイクルしているのかを見学。リユースショップ（※）では、外交団が食器などを手に取り、実際に持ち帰る姿も見られた。

※町民がまだ使える不用品を持ち込み、訪問者が自由に持ち帰ることができるショップ。



(2) 徳島県立阿波十郎兵衛屋敷

国の重要無形文化財「阿波人形浄瑠璃」の拠点として伝統芸能の素晴らしさを伝える「徳島県立阿波十郎兵衛屋敷」を訪問した。

全国で最も多くの農村舞台が残る徳島県で、どのように人形浄瑠璃が発展し、地域住民によって受け継がれてきたかを映像で学ぶとともに、実際の人形の操作方法の体験などを行った。

3人で1つの人形を操作するなどの人形浄瑠璃特有の技法や、人形の豊かな表情に、外交団の皆様も興味を持っていただけた様子だった。



(3) 関西広域連合主催 歓迎夕食会（アオアヲナルトリゾート）

「アオアヲナルトリゾート」において、関西広域連合主催の歓迎夕食会を開催した。関西広域連合からは、後藤田委員（徳島県知事）をはじめとした3府県の代表者が参加し、関西各地の魅力を紹介するとともに、ネットワークの構築を図った。

また、会場には、各府県市の魅力を紹介する観光ポスターを掲示したほか、各地の伝統工芸品等を展示するとともに、鳴門教育大学の阿波踊り部「鳴響連」による阿波踊りパフォーマンスが行われ、参加者全員で踊りに参加するなど、外交団との交流が深められた。

【関西広域連合側の参加者】		
徳島県	ごとうだ まさずみ 後藤田 正純	(徳島県知事)
京都府	すずき かずや 鈴木 一弥	(京都府副知事)
鳥取県	もりもと まこと 森本 誠人	(鳥取県関西本部長)



【7月10日】

(4) 人と防災未来センター

阪神・淡路大震災の経験と教訓を活かし、子どもから大人まで、災害や防災・減災について幅広く学ぶことができる「人と防災未来センター」を訪問した。

再現映像により、地域住民の目線で阪神・淡路大震災の恐ろしさやその後の復興の様子を追体験していただくとともに、展示エリアでは、熱心に最新の防災知識等について質問する様子も見られた。



(5) 関西広域連合主催 昼食会（けいはんなプラザ）

けいはんな学研都市の交流・研究における中核施設である「けいはんなプラザ」において、関西広域連合主催の昼食会を開催した。関西広域連合からは、西脇副広域連合長（京都府知事）をはじめとした6府県市の代表者が参加し、関西各地の魅力を紹介するとともに、ネットワークの構築を図った。

また、会場には、各府県市の魅力を紹介する観光ポスターを掲示したほか、各地の伝統工芸品等を展示するとともに、昼食会終了後には、日本茶インストラクターによるレクチャーのもと、参加者自身が点てた抹茶を味わい、日本のお茶の文化を肌で感じていただいた。

【関西広域連合側の参加者】

副広域連合長	西脇 ^{にしわき} 隆俊 ^{たかとし}	(京都府知事)
奈良県	西村 ^{にしむら} 高則 ^{たかのり}	(奈良県副知事)
京都市	岡田 ^{おかだ} 憲和 ^{のりかず}	(京都市副市長)
滋賀県	岡田 ^{おかだ} 暁人 ^{あきひと}	(滋賀県商工観光労働部長)
大阪府	松阪 ^{まつさか} 博文 ^{ひろふみ}	(大阪府府民文化部長)
兵庫県	小林 ^{こばやし} 拓哉 ^{たくや}	(兵庫県産業労働部長)



(6) (株)国際電気通信基礎技術研究所(ATR)

情報通信関連分野の世界最先端の研究成果とイノベーション創出で、けいはんな学研都市の発展に中核的な役割を果たしている「(株)国際電気通信基礎技術研究所(ATR)」を訪問した。外交団は、心を表現するアンドロイドと体の動きを通じた対話(Shosa)を体験し、最新の電波研究を行っている大型電波暗室を視察したほか、人間にそっくりのアンドロイド「ERICA」が受付をする様子も紹介され、研究員への質問や意見交換も積極的に行われた。

